

凡例

■ 地下免震部分

■ 地下非免震部分

新宿区役所本庁舎免震改修工事

新宿区役所本庁舎は、
免震化により地震に強い建物に生まれ変わります。

免震改修工事概要

- 事業費：約32億円（設計＋工事）
- 工期：平成26年5月～平成27年11月中旬
（準備工事は平成26年3月下旬から）
- 発注者：新宿区
- 設計：大成建設株式会社一級建築士事務所
- 監理：株式会社日本設計
- 施工：大成建設株式会社
- 関連工事：防災機能強化工事（※1）、
エレベーター更新工事、
庁舎維持管理工事（※2）

■ 建物概要

名称：新宿区役所本庁舎
計画場所：東京都新宿区歌舞伎町一丁目4番1号
敷地面積：3,364㎡（1,017.61坪）
地域地区：商業地域、防火地域
階数：地下2階 地上8階 塔屋3階
構造種別：鉄骨鉄筋コンクリート造、
一部鉄筋コンクリート造
建築面積：2,427.78㎡（734.41坪）
延床面積：21,590.54㎡（6531.14坪）（改修後）
竣工：昭和41年

※1 防災機能強化 …屋上非常用発電機設備更新、災害時緊急用汚水槽新設を行います。

※2 庁舎維持管理 …冷温水発生機更新、アスベスト（石綿）除去、高天井落下防止改修を行います。

改修計画

都内初、区役所での免震改修 + 曳家工事を実現

本庁舎は災害時の応急対策、復旧・復興対策の拠点となるため、改修工事を実施し耐震性を確保します。さらに、主な工事範囲を地下にすることで、工事中も建物を使い続けられる計画となります。

■ 免震改修 (めんしんかいしゅう)

既存基礎下に免震層を広く設け、たくさんの天然積層ゴム・オイルダンパーを設置します。



基礎下免震層



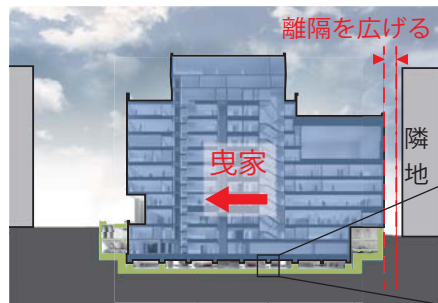
● 天然積層ゴム支承



■ 可変オイルダンパー

■ 曳家 (ひきや)

建物を南方向に動かします(下図の青部分)。道路・隣地との離隔が広がり、より安全になります。



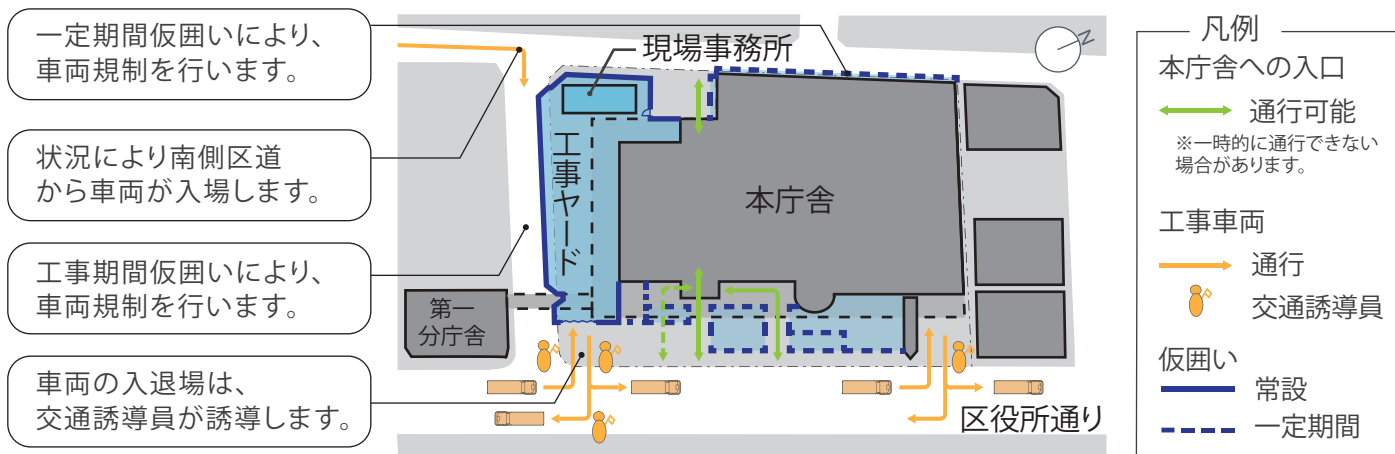
曳家のイメージ



曳家機構の概略図

施工計画

(予定)



工程計画

工事期間は平成26年5月～平成27年11月中旬です。

項目	期間	平成26年												平成27年													
		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11				
工事期間		▼本工事中																								竣工▼	
基礎下免震による免震改修工事		▲準備工事着工		▼掘削工事												▼既存杭切断・仮受ジャッキ設置										▼免震改修工事	
免震改修関連工事		▼防災機能強化工事		▲構造補強工事										▲新設耐圧盤										▼曳家工事			
庁舎維持管理工事		▼高天井落下防止工事開始												▲昇降機設備改修工事開始											▼冷温水発生機更新工事開始		
音又は振動を伴う作業		▼躯体解体(南側)				▼躯体解体(東側)				▼外構改修工事(土日中心)																	

工事中のお願い

問 総務課総務係(庁舎耐震改修担当) Tel:03-5273-3604

■ 本庁舎の駐車場はご利用できません。

工事期間中は、代替駐車場を用意しますが、出来る限り公共交通機関をご利用頂きますようお願いいたします。

■ 工事に伴い騒音・振動等が発生します。

本庁舎を利用する皆様、近隣の皆様への影響を極力減らすよう工事を実施しますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。